

2020年度 清水学院高等専修学校
自己点検及び学校関係者評価委員会 報告書

評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

重点目標

- ① 健全な青少年を育成する。
- ② 一人ひとりを大切にする教育体制を構築する。
- ③ 入学を志願する生徒数を増加させる。

1. 教育理念・目標

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4		4	・特になし
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4		4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	3	目標の見直しという観点よりも、目標達成に向けた活動の見直しについてより定期的におこなう必要がある。	3	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	3		3	

2. 教育活動

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	3		3	<p>・資格試験について計画的な対応をするためにも、合格率に対する目の向けたを考えると良い。</p> <p>現状、実施された試験日の合格率を算出しているが、担任がクラス単位での合格率を把握するなど、情報を多角的に見る必要性を感じる。</p>
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	3	年度初めに掲げられた方針内容をもとに、計画的な確認や見直しをすることで日々の中でカリキュラムを意識する習慣をつけていく。	3	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	4		4	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	3	業務上の負担も配慮したうえで効率的に点検評価ができる方法論を定める必要がある。	3	
資格試験の合格率は	3	苦手意識がある生徒に対するフォローアップの方法、また上級への挑戦意欲を高める環境をより充実させることが肝要。	3	
資格試験不合格者の対策は	2	個人でも学習に取り組める動画教材を作成した為、活用方法を検討して実践していく。	2	
評価は適切な方法で行われているか	4		4	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	3	目標設定、結果分析までは明確な活動として実施できている為、目標達成できなかった者へのフォローアップ方法についても定着を図る。	3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4		4	

3. 生徒受入

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3		3	
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4		4	
募集要項の内容は適切か	3	特に費用に関する項目では、減免制度を知らない人でも理解がしやすい内容となるよう、必要なことだけを抑えたうえで簡潔化する必要がある。	3	
学校見学会の時期、内容は適切か	3	感染症対策を念頭に入れながら、次年度に最も適切な見学会等の企画を検討していくことが肝要。	3	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4		4	
志願者状況、定員充足率はどうか	3	学則上の募集定員に対しての充足率は低いですが、現状おこなっている教育活動と鑑みると適正な入学者数と考える。	3	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4		4	

4. 教職員組織

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	4		4	<p>・校務分掌について、勤続年数が長い教員への割り振りの率が高いように感じる。教員の業務対応力向上のためにも、新しい業務へのチャレンジ機会を増やす必要性を感じる。</p>
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3		3	
教職員の業務分掌は明確になっているか	3	複数業務を兼任している教職員が多い現状で、業務が後手に回ることがないような管理方法を検討していく。	3	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的に行っているか	3		3	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	3		3	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3		3	

5. 施設・設備等

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4		4	
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4		4	
実習設備は整備されているか	4		4	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	3	情報機器のトラブルは避けられないと考え、担当以外の教職員の対応力底上げを図る機会も検討。	3	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	4		4	
保健室は適切に整備されているか	3		3	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	3	新しい教育用機器をどのように活用するか、個々が研究と実践を繰り返す習慣や時間の確保を目指す。	3	
職員室の管理は適切に行われているか	4		4	
事務室の管理は適切に行われているか	4		4	

6. 生徒生活支援

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	4		4	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練について、非常勤講師の参加や、避難訓練の実施時間変更、また消防署と連携した講習など、幅広い活動があるとよい。
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	3		3	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3	目的を明確にした防災講習の実施を繰り返すことで、幅広いノウハウを積み重ねることが必要。	3	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4		4	

7. 管理・運営

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4		4	・特になし
個人情報保護法を遵守しているか	4		4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4		4	

以上、本校の教育研究活動等の学校関係者委員会の意見として報告します。